学校評価実施要領

廿日市市教育委員会

1 実施根拠

廿日市市立学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則(昭和61年教育委員会規則第4号)第3条～第6条

廿日市市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第5条～第8条

2 目的

- (1) 学校は、自らの教育活動その他の学校運営について、目標を設定し、その達成状況や取組みの適切さ等について評価することにより、組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校は、自己評価及び学校関係者による評価の実施並びにその結果の公表により、説明責任を適切に果たすとともに、学校、家庭及び地域の連携協力による学校づくりをすすめる。
- (3) 廿日市市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援、条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上に努める。

3 学校評価の種類

(1) 自己評価

自己評価は、原則として当該学校の教職員全員が行い、学校経営計画に照らし、当該学校における目標の達成状況や取組の適切さ等について評価を行う。

(2) 学校関係者評価

学校関係者評価は、保護者、地域住民等により構成された学校運営協議会が、次に掲げる事項について評価を行う。

ア 自己評価の結果

イ 教育活動その他の学校運営の状況

4 評価項目及び評価指標

- (1) 別に定める「学校評価共通項目」により、評価項目及び評価指標を設定すること。（教育委員会が別に提示する学校評価共通項目を位置づけるとともに、学校実態に応じた独自の項目を位置づける。）
- (2) 評価項目を精選するとともに、重点化を図り、重点項目として2～3項目定めることとする。

5 報告及び公表

- (1) 校長(園長を含む。以下同じ。)は、学校評価の結果について教育委員会に報告するとともに、保護者、地域住民等に公表する。
- (2) 教育委員会への報告は、別に示す様式例に準じて作成する。

6 留意事項

- (1) 学校評価を行うことにより、学校の序列化や過度の競争といった弊害を生じないよう努める。
- (2) 学校評価の結果の報告書や学校運営に関する情報を公表・提供する際には、児童生徒の個人情報の保護に留意する。
- (3) この要項に示すこと以外で、学校評価の実施に関し必要な事項については、教育長が定める。

附 則

この要領は、平成23年4月1日から施行する。

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

(学校評価実施要領 4 (1) 関係)

令和5年度学校評価共通項目

廿日市市教育委員会

当該年度において、教育委員会としては、次の分野を重点課題とすることとし、学校が評価項目を定める際には、次のことを含めることとする。

1 確かな学力を育む教育の推進

「令和5年度学校評価計画書」における目標評価項目・指標に廿日市市学校評価共通項目を含むこととする。

そのため、第3期廿日市市教育振興基本計画における「確かな学力を育む教育の推進」に係る目標を各校の計画書に記入し、自校の実態を踏まえて今年度の目標値を設定すること。

○第3期廿日市市教育振興基本計画「確かな学力を育む教育の推進」

【指標】

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合
(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙)

【目標値(令和7年度)】

85.0%

2 学校における働き方改革の推進

令和2年12月改定の「学校における働き方改革取組方針」を参考にして、自校の実態を踏まえ、評価指標を設定すること。

※令和5年度に改訂版が作成されます。